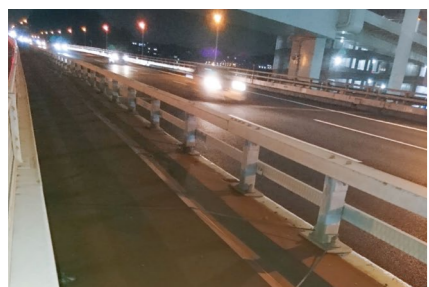


試験項目	判定	試験方法
塗膜の健全性	標準養生後	正常
	促進耐候性試験後	正常
	温冷繰返し試験後	正常
	耐アルカリ性試験後	正常
コンクリートとの付着性	標準養生後	1.9N/ml
	促進耐候性試験後	2.7N/ml
	温冷繰返し試験後	1.7N/ml
	耐アルカリ性試験後	2.2N/ml
しゃ塩性	合格	中日本・西日本・東日本高速道路株式会社 [構造物施工管理要領]- コンクリートの表面保護
酸素透過阻止性	合格	
水蒸気透過阻止性	合格	
中性化阻止性	合格	
ひび割れ追従性	標準養生後(常温時)	10.8mm
	標準養生後(低温時)	5.1mm
	促進耐候性後(常温時)	8.0mm
耐疲労性	異常なし	JIS A 6909 建築仕上げ材
透水性	合格	
伸張性(複合塗膜)	374%	
		自社試験

KFシールテクトYKB-W工法の応用事例

鉄板の腐食防止、隙間からの漏水対策



排水周りの漏水対策

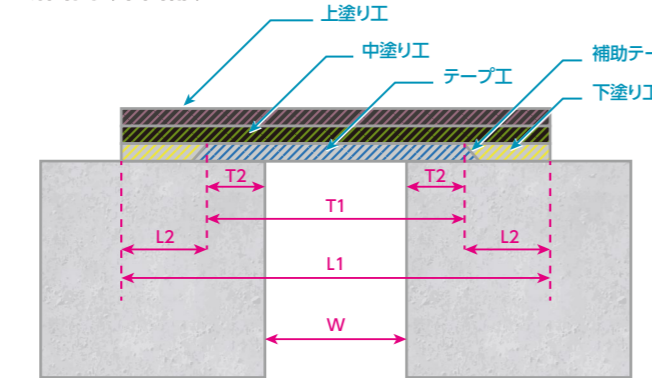


※特殊な形状にも適用可能です。
ご検討の際はKFケミカルまで
お問い合わせください。

KFシールテクト YKB-W工法 標準仕様 Standard Specification

工程	商品名	材料名	標準塗布量	塗装間隔
素地調整		・サンダーケレン、高圧水洗浄等で付着阻害要因となる汚れ等を除去、清掃して下さい。 ・必要に応じて下地欠損箇所等はポリマーセメント等で補修して下さい。 ・結露により下地表面に付着した水滴等は除去し、乾燥したウエス等で取り除いてください。		
テープ工	KFシールテクトテープ200	片面プチル付きゴムテープ	—	—
下塗り工	KFウレタンプライマー50N	1液湿気硬化型ウレタン塗料	0.15kg/m ²	0.5時間~8時間
	KFシールテクトアンダーコートT	3成分型水性エポキシ塗料	0.35kg/m ²	0.5時間~7日間
中塗り工	KFシールテクトミドルコート	2液反応硬化型ポリウレタ樹脂	1.5kg/m ²	1時間~3日間
上塗り工	KFシールテクト33-3	2液反応硬化型高耐候性ゴム塗料	0.5kg/m ²	—

断面図(平面部)



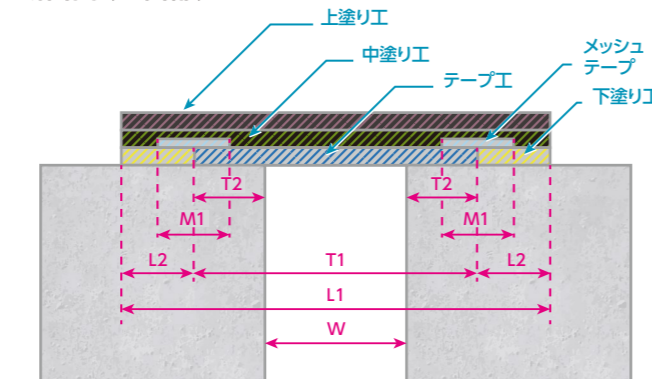
※T2は50mm以上確保する

【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	T1 テープ幅	T2 テープしろ	L2 塗装しろ	L1 施工幅
0~10	50	25~20	50	150
0~100	200	100~50	100	400
101~200	300	100~50	100	500
201~300	400	100~50	100	600
301~	400以上 (欄外)	100以上	100	600以上

W=301以上はKFシールテクトテープ200を横貼りにして施工する。

断面図(立面部)



【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	T1 テープ幅	T2 テープしろ	L2 塗装しろ	L1 施工幅	M1 メッシュテープ
0~50	200	75以上	100	400	100
51~100	300	100以上	100	500	100
101~200	400	100以上	100	600	100
201~	400以上 (欄外)	100以上	100	600以上	100

※W=201以上はKFシールテクトテープ200を横貼りにして施工する。
※W=150以上は必要に応じてKFシールテクトテープ200のたるみ防止のためPP板を使用する。
※テープ材質合わせのラップは50mm以上。
※コンクリート目地やひび割れ部等に適用する場合は別途寸法を協議する。
※遊間部のコンクリート角に面取り部がある場合は、これを含んだ遊間幅とする。

施工条件

- ▲ 気温5°C以上・湿度85%以下の環境で作業すること。
- ▲ 施工面が雨水等で濡れていないことを確認すること。(下地含水率10%以下)
- ▲ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ▲ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物を除去すること。
- ▲ 施工面の補修歴が施工に支障のない下地であること。
- ▲ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023
http://www.k-fine.co.jp/

特約店

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

遊間目地止水工法

KFシールテクト
YKB-W工法

Merit of KF Sealtect YKB-W Method

KFシールテクト **YKB-W工法** のメリット

1day
YKB-W工法
の特徴

※ 施工時の時季や温度によって
乾燥時間・塗料間隔は変動するので
ご注意ください。

3層気密構造 3LAYERS AIR TIGHTNESS

3つの止水層で高い止水機能を発揮します。

オール手塗り工法 ALL HAND COATING

ローラーや刷毛で施工可能です。特殊機械、
設備が不要で手塗りのため材料飛散が少ないです。

交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

速硬化型塗料により、塗装間隔が短く
1日で完工することができ、即日規制開放が可能です。

バックアップ材不要 SAFETY

バックアップ材が不要なため、老朽化による
脱落・落下の恐れがありません。

伸縮性 ELASTICITY

専用プライマーにより高い付着力を保持します。
伸び性能は300%以上を有しており、下地の動きに追従します。

高耐久性 HIGH DURABILITY

高耐候性ゴム塗料を塗布することにより、
ゴム弾性を長期間保持し耐久性に優れます。

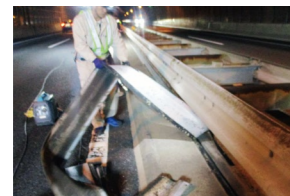
塗膜の特徴



YKB-W工法の施工手順 (平面部)

STEP 1

既存の止水材を除去。
※ゴムシート、鉄板など様々な止水材があり、ボルトで固定されている場合、アンカーを切断する。



STEP 2

塗装するコンクリート面を研磨。脆弱な部分は研り落とす。



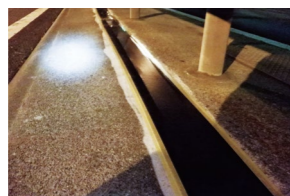
STEP 3

テープ材(KFシールテクトテープ200)を張り付け遊間を塞ぐ。
※遊間が広い場合やテープがたるむ場合はPP板を設置し平行になるように貼り付ける。



STEP 4

テープ材(KFシールテクトテープ200)の端部に段差が生じるので補助テープで平滑にする。



STEP 5

テープ材の両脇に下塗材(KFウレタンプライマー50NまたはKFシールテクトアンダーコートT)を塗布する。
※下地の巣穴が多い場合はKFシールテクトアンダーコートT推奨。



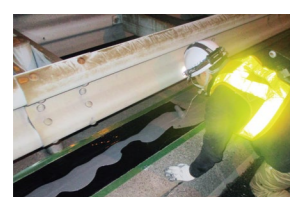
STEP 6

中塗材(KFシールテクトミドルコート)を塗布する。テープ材の端部は段差が生じやすく、中塗材が薄くならないように注意する。



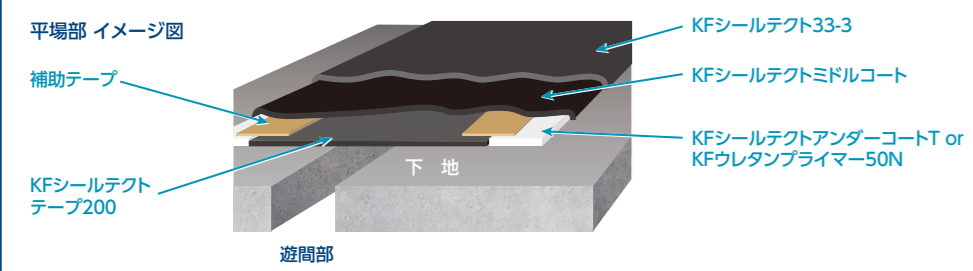
STEP 7

上塗材(KFシールテクト33-3)を塗布する。



STEP 8

施工完了



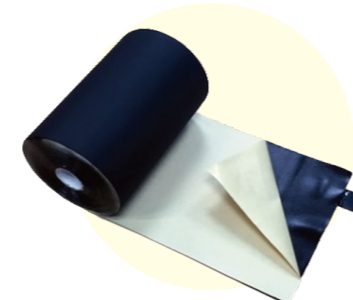
片面プテ付きゴムテープ KFシールテクトテープ200

下地と強固に付着し、伸張性も有するテープ材

荷姿 W200mm×10m/巻、W300mm×10m/巻、W400mm×10m/巻

KFシールテクトテープ200の特長

- FEA TURE 1 粘着性に優れる
- FEA TURE 2 加工が容易で複雑な形状にも施工可能
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する



1液湿気硬化型ウレタン塗料 KFウレタンプライマー50N

下地と中塗材を強固に付着させる下塗材

荷姿 1kg/缶 標準塗布量 0.15kg/m²

KFウレタンプライマー50Nの特長

- FEA TURE 1 1液タイプで混合の必要がない
- FEA TURE 2 乾燥時間が短い

KFウレタンプライマー50Nの乾燥性

塗料温度	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5~10℃	2時間	8時間
10~25℃	1時間	2時間
25~35℃	0.5時間	1時間

使用上の注意

- ⚠ 使用後は必ず密閉し水分混入の内容に保管してください。
- ⚠ 使用した器具類は直ちにシンナー洗浄してください。
- ⚠ 放置すると硬化し洗浄が困難になります。



2液反応速硬化型ポリウレア塗料 KFシールテクトミドルコート

強靭な塗膜を形成し外力からの耐久性を向上させる

荷姿 6.4kg/セット(主材3.2kg、硬化剤3.2kg) 標準塗布量 1.5kg/m²

KFシールテクトミドルコートの特長

- FEA TURE 1 耐衝撃性の高い塗膜を形成する
- FEA TURE 2 レベリング性が高く平滑な仕上がりとなる
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する

KFシールテクトミドルコートの乾燥性

塗料温度	可使時間 (代表値)	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5~10℃	20分	3時間	5時間
10~25℃	15分	1.5時間	3時間
25~35℃	10分	1時間	1.5時間

使用上の注意

- ⚠ 可使時間が10分程度と短い為、使用時の主剤、硬化剤の混合量は施工面積を考慮して混合してください。



2液反応硬化型高耐候性ゴム塗料 KFシールテクト33-3

高耐候性の上塗材

荷姿 7.5kg/セット(主材6.5kg、硬化剤1kg) 標準塗布量 0.5kg/m²

KFシールテクト33-3の特長

- FEA TURE 1 紫外線劣化しにくく長期に塗膜の機能を維持する
- FEA TURE 2 自己修復機能を有し多少の傷は回復する
- FEA TURE 3 伸張性が高く挙動に追従する



KFシールテクト33-3の乾燥性

塗料温度	可使時間 (代表値)	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5~10℃	3時間	5時間	16時間
10~25℃	1.5時間	2時間	8時間
25~35℃	0.5時間	1時間	4時間

3成分型水性エポキシ塗料 KFシールテクトアンダーコートT

下地や上塗り塗料との密着性が高く、下地調整材としての役割も果たす水性の下塗材

荷姿 20Lポリバール缶、粉体5.4kg、主剤2.0kg、硬化剤2.0kg 標準塗布量 0.35kg/m²

KFシールテクトアンダーコートTの特長

- FEA TURE 1 ローラーで施工可能
- FEA TURE 2 白い塗料なので下地の色ムラを隠してきれいに仕上がりやすい
- FEA TURE 3 下地の微細なひび割れや素穴の補修効果が期待できる

- FEA TURE 4 塗膜表面がザラついているため、上塗りでローラーを使用したときに滑りにくい
- FEA TURE 5 施工後の乾燥が速い
- FEA TURE 6 セメント硬化とエポキシ硬化の2つの硬化システムで強固な下地を形成



KFシールテクトアンダーコートTの乾燥性

塗料温度	可使時間 (代表値)	指触乾燥 (代表値)	硬化乾燥 (代表値)
5~10℃	6時間	1時間	10時間
10~25℃	4時間	1時間	5時間
25~35℃	2時間	0.5時間	3時間

使用上の注意

- ⚠ ポリバールに硬化剤と粉体をすべて入れ、電動攪拌機で1分間混合する。混合液が均質になったところに主剤を入れ、更に1分間混合する。

メッシュテープ



YKB-W工法の施工手順 (立面部)

STEP 1

既存の止水材を除去。
※ゴムシート、鉄板など様々な止水材があり、ボルトで固定されている場合、アンカーを切断する。



STEP 2

塗装するコンクリート面を研磨。脆弱な部分は研り落とす。



STEP 3

テープ材(KFシールテクトテープ200)を張り付け遊間を塞ぐ。
※遊間が広い場合やテープがたるむ場合はPP板を設置し平行になるように貼り付ける。



STEP 4

テープ材(KFシールテクトテープ200)の端部に段差が生じるのでメッシュテープで平滑にする。



STEP 5

テープ材の両脇に下塗材(KFウレタンプライマー50NまたはKFシールテクトアンダーコートT)を塗布する。
※下地の巣穴が多い場合はKFシールテクトアンダーコートT推奨。



STEP 6

メッシュテープ部に一度塗布し硬化後に全体に塗布する。



STEP 7

上塗材(KFシールテクト33-3)を塗布する。



STEP 8

施工完了

